



今月の話題：様々な業界で AI への指向が急ピッチであるが、その基礎となるデータの収集に問題があるように思われる。最近では電子的に無作為、無差別、無思慮に行われ、個人情報も知らぬ間に取り込まれて仕舞う有様である。このようなデータが目指すものは何であろうか。この度、来日したフランスのマクロン大統領が AI の倫理規範を定める組織を設ける考えを明らかにしたとの事だが、その進展を注視したい。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・8月夏休みは、8月13日(火)～16日(金)です。

○次回拡大理事会：9月10日(火)18:00～

□ 建築部会：(岡本直 記)

・6月の建築部会は6月17日(月)に開催しました。

・今年度サーツ寺子屋の次回以降の予定を以下のように決定し、ホームページに掲載しています。

第2回7/16 超高層マンション大規模修繕工事シリーズ(その3)(講師:永井香織)

第3回7/25 ドイツの職能教育(講師:浅野忠利)*
サーツ会報のNO.76から80の5回連載で興味深い内容が紹介されています

・耐震セミナーの開催予定:7/7 練馬区耐震セミナー
9/21 東京都マンション耐震セミナー

両セミナーでは、耐震改修を実施したマンション管理組合の責任者の経験談を紹介できるよう準備しています。

・今年度第2及び3回の技術リフレッシュ見学会を開催。

・5/17 JR横浜タワー工事の見学

・6/7 横浜新市庁舎工事の見学

それぞれの報告記をサーツ誌81号に掲載予定

・応急危険度判定士について:建築部会では、耐震に関するセミナーに協力する機会があることに関連して、大地震で被災した建築物を調べ、倒壊の危険性、外壁、看板や窓ガラスなどの落下、付属設備・機器の転倒・落下などの危険性を判定する応急危険度判定士の資格を有する会員のリストを作成することにしました。6月の部会参加者のなかでは6名の資格者がおりました。資格を持っている方がおられましたら是非、ご連絡下さい。

○次回建築部会：7月22日(月)17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・7月の戸建住宅部会は下記のとおりです。皆様のご出席をお待ちしています

○次回部会予定：7月4日(木)18:00～

ショートレポート:阿部市郎「クルーズ船で訪れたウラジオストック点描」

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・都市計画法・建築基準法制定100年記念のシンポジウムが6月21日に開催された。『市街地建築物法』と都市計画法が制定された大正7年(1918年)は、関東大震災の僅か5年前であったが、首都直下型地震の被害で10万を超える人が犠牲になったことは今なお社会の大きな記憶に残っている。地震と台風が同時に来たために、建物倒壊での犠牲者より焼死者が遥かに多かったという事実の再認識を含め防災問題への柔軟な対応の重要性が待望される。

それから100年も経って、なかなか都市の防災性が高まらない原因の一つは、折角の耐震耐火建築物を大事にしない、建物寿命の過小評価にも一因がある。目の利益に目眩く、少しでも安い土地柄の場所に耐震性や耐火性の低い建物を建ててよしとするようではどうしようもない。自治体の公共建築物を法定耐用年数で寿命とするような見解には異議を唱える必要があろう。

そうした時代の流れにさおさすためにも、古い街の記憶を後世に伝えるための街並の保存や再生に費用と惜しまないドイツ人の生活スタイルにも学ぶべきことが少なくないが、日本にも保存すべき古民家や名建築はまだかなり残っているのを、もっともっと大事にすべきではないかと思われる。その意味で、URが、鉄筋コンクリートの寿命は“中性化理論”による必要がないと判断するに至ったと公表したことに大きな意義を感じる。

○次回部会予定：7月23日(火)18:00～

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・6月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況

1) 新規引合いが1件増え(聖蹟桜ヶ丘・横浜戸塚・上鷺宮・国分寺市・西東京市・東陽町+板橋区)7件に。

この内、西東京市、東陽町の2件が受託決定。聖蹟桜ヶ丘、上鷺宮、サーツへの発注の総会決議への運びになっています。横浜戸塚の案件は10年前に大規模修繕のコンサルを実施した管理組合から、国分寺市案件は9年前の長期修繕計画見直しコンサルを実施した、いずれもリピート案件で、引き続き受託に向け進めます。大山公園SHと同様に、今後設備関係の相談が増えそうです。

2) 今年度、新規受託が2件増え(すずかけ台・北区浮間+西東京市・東陽町)4件に。

6月度、新規受託決定が2件(西東京市の工事監理、東陽町の防火設備検査)で、順調に進んでいます。

◇その他の連絡事項

1) 19年度第2回サーツ寺子屋7月16日(火)18:00～、最近の外装材の耐久性について、日大准教授永井先生の講演があります。サーツHPより受講申し込みを!

2) 東京都との共催「耐震セミナー」については建築部会報告参照願います。

○次回部会予定：7月23日(火)18:00～

(集合住宅部会との合同開催の予定です。)

□ 建築技術誌7月号(6月17日発売) サーツ欄掲載記事

・和田章:「3軸大型動的載荷試験機」をもつ第三者試験機関の設立

・片岡泰子:東日本大震災 地域型復興住宅「スクラムかみへい住宅」7年間の記録—概要紹介

□ 余滴:薔薇園にわき目も振らず氷川丸 捷三郎